

明治三十八年勅令第五百十七號ニ依ル鹽、鹽藏魚類及製成醬油ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱中左ノ通改正シ大正二年十月十五日ヨリ之ヲ施行ス

第四條中「鰈、鯖又ハ鱈」ヲ「鰈、鯖、鱈、乾鰾」ニ改ム

第四條、第五條、第九條中「鹽藏魚類」ヲ「鹽藏魚介類」ニ改ム

第五條第一號書式中「鹽及鹽藏魚類輸出通知書」ヲ「鹽及鹽藏魚介類輸出通知書」ニ、第九條及第五號書式中「鹽藏魚類」又ハ製成醬油輸入通知書ヲ「鹽藏魚介類及製成醬油輸入通知書」ニ改ム

第一號書式備考中「内地鹽以外ノ輸出鹽」ヲ「輸出臺灣鹽」又ハ關東州鹽ニ改メ「歐米粗製鹽」ヲ削ル

第一號書式及第五號書式備考中「内地鹽以外ノ鹽」ヲ以テ鹽藏シタル輸出魚類ニ付テハ魚介類毎ニ「臺灣鹽」又ハ關東州鹽ヲ使用シタル輸出鹽、鹽藏魚介類ニ付テハ魚介類毎ニ改ム

第十章 交付金下付及追徴

第一節 交付金下付

專賣鹽ハ其ノ使用スヘキ目的ニ依リ特別價格ヲ以テ低價賣下ヲ爲スコトトシ以テ其ノ外國輸出又ハ之ヲ使用スル農工業、漁業等ノ發展ヲ期シタリ然ルニ其ノ用途ニシテ賣渡當時ニ於テ定マレルモノニ在リテハ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケ得ヘシト雖買受又ハ使用ノ便宜上專賣官署ヨリ賣渡ヲ受クル際ニ於テハ未タ用途ヲ定ムル能ハサルモノ少ナシトセス此ノ場合一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタルモノト雖他日同一用途ニ供用シタルトキニ在リテハ均シク其ノ恩典ニ浴セシメ使用上ノ便ヲ得セシムルヲ可トシ交付金下付ノ途ヲ開キタリ而シテ其ノ交付金額ハ專賣益金ニ相當セル金額ニ定メタルヲ以テ交付金ノ下付ヲ受クルトキハ鹽ノ價格ニ於テハ特別定價賣渡ヲ受

ケタルト同一ニシテ其ノ結果ニ於テハ特別定價賣渡ト交付金下付トハ其ノ賣渡代金ノ計算ニ前
後アルノミニシテ二者互ニ表裏ヲ爲スニ過キサレナリ

賣渡價格及交付金下付ニ關スル法律ノ規定ヲ抄記スレハ左ノ如シ

法律第十一號 (明治三十八年一月一日)

鹽專賣法(抄録)

第十八條 政府ハ定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スヘシ

前項ノ定價ハ賠償金ヲ交付シテ收納シタル鹽ニ付テハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償金ニ
一石ニ付金二圓五十錢又ハ百斤ニ付金一圓四十八錢ノ割合ノ金額ヲ加算シタルモノヲ超エ
テ之ヲ定ムルコトヲ得ス

第十九條 左ニ掲クル鹽ニ付テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特別ノ定價ヲ以テ之ヲ賣渡ス
コトヲ得

一 外國ニ輸出スルモノ

二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スルモノ

前條ニ依リテ賣渡シタル鹽ニシテ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令ノ定ムル
所ニ依リ交付金ヲ下付ス

特別定價ノ賣渡ハ鹽ヲ使用スルモノニシテ獎勵ヲ要スヘキ農工鑛漁等ノ産業ノ發達ヲ助成シ輸
出貿易ノ保護獎勵ニ在リ交付金下付ノ目的モ亦之ニ外ナラスシテ調査ノ結果左ノ用途ヲ限り左
記割合ノ交付金ヲ下付スルコトトシタリ其ノ交付金ノ算定ハ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ以
テ使用鹽量ヲ標準トナセルモ鹽藏魚類ニ在リテハ各魚類ニ付使用鹽率ヲ求メ魚類ノ重量ニ依リ
交付金ヲ決定シタリ

一 外國ニ輸出シタルトキ

鹽 百斤ニ付 一圓四十八錢

二 其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル練又ハ鱒ヲ輸出シタルトキ

鹽水漬練 百斤ニ付 七十四錢

鹽漬練 百斤ニ付 五十一錢

鹽水漬鱒 百斤ニ付 七十四錢

三 醬油(普通醬油ノ番醬油及自家用醬油ヲ除ク)及醸造用、曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用、肥料用、獸皮保存用、鑛業用ニ

使用シタルトキ

生引溜醬油醸造用以外ノ用途

鹽 百斤ニ付 一圓三十錢

生引溜醬油醸造用

生引溜 一石ニ付 七十三錢

四 鮭、鱒、鯉、鯔、鰻、豚、臘、藏用ニ使用シタルトキ

鹽鮭 百斤ニ付 八十四錢

鹽鱒 百斤ニ付 九十七錢

鹽鯉 百斤ニ付 五十二錢

鹽鯔 百斤ニ付 五十二錢

鹽鯔 百斤ニ付 六十五錢

明治三十八年五月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ定メ鹽專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行

シタリ(本規則ニハ特別定價賣渡ニ關スル規定アリテ交付金下付ノ規定ノミニ非サルモ同規則ノ

沿革ヲ覽ルニ便セム爲メ本章ニ於テハ規則ノ全文ヲ記入スルコトシタリ)

勅令第五百五十七號 (明治三十八年五月九日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則

第一條 鹽專賣法第十九條第一項第二號ニ依リ特別定價ヲ以テ賣渡スコトヲ得ル鹽ハ左ノ用

途ニ使用スルモノニ限ル

一 醬油釀造用但シ普通醬油ノ番醬油及自家用醬油釀造ニ使用スルモノヲ除ク

二 曹達、硫酸曹達、晒粉、石鹼製造用

三 肥料用

四 獸皮保存用

五 鑛業用

六 鮭、鱒、鱈、鯨、臘、豚獸鹽藏用

第二條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ

鹽ノ賣渡ヲ請求スルコトヲ得ル者ハ輸出者、醬油釀造者又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル

者ニ限ル

第三條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトスル者ハ鹽ノ數量、等級、輸出港

及輸出先ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第四條 第一條第一號乃至第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケムトス

ル者ハ鹽ノ數量、等級用途及使用場所ヲ記載シタル賣渡請求書ヲ鹽務局ニ提出スヘシ但シ醬

油釀造ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ普通醬油又ハ溜醬油釀造用ノ區別、第一條第六號ノ

用途ニ使用セムトスル鹽ヲ以テ帝國外ニ於テ鹽藏セムトスル場合ニ在リテハ出漁船名及出

港地名ヲモ記載スヘシ

第五條 溜醬油釀造又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ハ百斤ニ付金

一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供スヘシ

前項ニ依リ提供スヘキ擔保物ハ金錢又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル

擔保ヲ提供セムトスル者ハ前項ノ擔保物ヲ供託シ其ノ供託受領證ヲ鹽務局ニ提出スヘシ

第六條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セララル

モノニ付テハ鹽務局ハ其ノ用途ニ從ヒ買受人ノ費用ヲ以テ鹽ノ重量百ニ對シ左ノ割合以上

左記物品ノ一ヲ混和シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

一 曹達又ハ硫酸曹達製造用

酸性硫酸曹達

石油

發煙鹽酸

苛性曹達

純硫酸

二 晒粉製造用

純硫酸

滿俺鑛

三 石鹼製造用

石油

的列竝油

石鹼粉末

一五

〇三

〇三

一五

二

二

二五

二五

〇三

〇三

椰子油

五

無水炭酸曹達

五

四 肥料用

煤

二

木炭粉末

二、五

五 獸皮保存用

石油

〇、三

石鹼粉末

一、五

硫酸鐵

四

木炭粉末

二、五

酸化鐵

〇、三

煤

二

六 鑛業用

木炭粉末

二、五

石油

〇、三

石炭粉末

二、五

褐炭粉末

二、五

煤

二

第七條

第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲變性ヲ施シタル鹽ヲ除クノ外特別定價

ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ運搬シ又ハ貯藏スルトキハ其ノ他ノ鹽ト之ヲ區別スヘシ

第十章 交付金下付及追徴

一三八九

前項ノ場合ニ於テ必要ト認メタルトキハ當該官吏ハ其ノ鹽ニ封印ヲ施シ又ハ之ヲ護送スルコトアルヘシ

第八條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡鹽務局ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第九條 特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ追徴ス

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ヲ第一條ノ用途ニ使用スルコトヲ許可スルトキハ鹽務局ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ各特別定價ノ差額ヲ追徴ス

第十條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル輸出港、輸出先、使用場所、出漁船名又ハ出港地名ヲ變更セムトスルトキハ賣渡鹽務局ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第十一條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出セムトスルトキハ其ノ輸出申告書ニ少クトモ鹽ノ數量、輸出先、積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ税關ハ鹽ノ數量ヲ檢定スヘシ

第十二條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ其ノ用途ニ使用セムトスルトキハ其ノ數量使用ノ場所及日時ヲ定メ使用地所轄稅務署ニ使用ノ承認ヲ申請シ使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ

前項ノ承認ヲ受ケタル者溜醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テ所轄稅務署カ醬油ノ査定ヲ爲スニ當リ殘存スル味噌アルトキハ其ノ數量ヲ査定スヘシ
前項ノ場合ニ於テ賣渡鹽務局ハ殘存味噌百斤ニ付金十一錢五厘ノ割合ノ金額ヲ溜醬油釀造者ヨリ追徴ス

第十三條 第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者漁獲物ヲ鹽藏シタルトキハ漁獲物ノ數量漁獲及鹽藏ノ場所並漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ検査ヲ經テ鹽使用濟證明書ノ交付ヲ受クヘシ但シ帝國外ニ於テ鹽藏シタルトキハ歸港ノ際其ノ申請書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出スヘシ
前項ニ依ル鹽藏物ノ検査ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ
鹽務局ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス

鮭 六十五

鱒 七十五

鱈 四十

鯨 四十

豚肭獸 五十

第十四條 外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ六箇月以

内ニ左ノ書類ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第十五條 第一條第一號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ

第十章 交付金下付及追徴

日ヨリ一箇年以内ニ稅務署ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサルトキハ其ノ事由ヲ具シ未使用鹽ニ付稅務署ノ承認ヲ申請シ其ノ證明書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ此ノ場合ニ於テハ承認ヲ受ケタル未使用鹽ニ關シ其ノ承認ヲ受ケタル日ヨリ一箇年以内ニ鹽使用濟證明書ヲ提出スヘシ
 第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽務局ノ交付シタル鹽使用濟證明書ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ
 前項ノ場合ニ於テ使用シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタルコトヲ認めタルトキハ賣渡鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ノ金額ヲ賣渡請求者ヨリ追徴ス

第十六條 特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者左ノ各號ノ一ニ該當スルトキハ特別定價ト

一 一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

一 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽

ヲ許可ヲ受ケスシテ他ニ讓渡シタルトキ

二 許可ヲ受ケスジテ賣渡請求書ニ記載シタル用途ヲ變更シタルトキ

三 第十一條ノ輸出申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸ニ寄港シタルトキ但シ海難

其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

四 第十四條又ハ第十五條ニ依リ提出スヘキ書類ヲ提出セサルトキ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第一號若ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ノ其ノ目的ニ供シタル鹽ノ數量カ賣渡シタル鹽ノ數量ニ對シ不足シタル場合ニ

於テ正當ノ事由ナシト認メタルトキハ鹽務局ハ其ノ不足額ニ對シ前項ノ金額ヲ追徵スルコトヲ得但シ第十五條第二項ニ依リ承認ヲ受ケタル未使用鹽ハ其ノ不足額ニ算入セス

第十七條 第九條第十二條第十五條及前條ノ追徵金ニ關シテハ國稅徵收法及國稅徵收法施行規則ノ規定ヲ準用ス

第十八條 第五條ニ依リ提供シタル擔保ハ左ノ場合ニ於テ之ヲ解除ス

一 其ノ鹽ヲ以テ釀造シタル醬油全部ニ付査定ヲ受ケ殘存味噌ナキトキ又ハ殘存味噌ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ

二 其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ

第十九條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ左ノ目的ニ供シタル者ハ左ノ割合ヲ以テ交付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

一 外國ニ輸出シタルトキ

鹽 百斤ニ付 金一圓四十八錢

二 其ノ鹽ヲ以テ鹽藏シタル鰵又ハ鯖ヲ輸出シタルトキ

鹽水漬鰵 百斤ニ付 金七十四錢

鹽漬鰵 百斤ニ付 金五十一錢

鹽水漬鯖 百斤ニ付 金七十四錢

三 第一條第一號乃至第五號ノ用途ニ使用シタルトキ
生引溜醬油釀造用以外ノ用途

鹽 百斤ニ付 金一圓三十錢

第十章 交付金下付及追徵

生引溜醬油釀造用

生引溜 一石ニ付 金七十三錢

四 第一條第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽鮭 百斤ニ付 金八十四錢

鹽鱒 百斤ニ付 金九十七錢

鹽鱈 百斤ニ付 金五十二錢

鹽鯨 百斤ニ付 金五十二錢

鹽漬臙肭獸 百斤ニ付 金六十五錢

第二十條 前條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ左ノ書

類ヲ添附シ之ヲ輸出港稅關ニ提出スヘシ

一 輸出免狀又ハ外國ニ輸出シタルコトヲ證明スヘキ書類

二 外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類

第二十一條 第十九條第一號又ハ第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出

申告書ニ少クトモ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量輸出先積載スヘキ船舶名及其ノ内國寄港地ヲ記載

スヘシ

前項ノ申告アリタルトキハ稅關ハ鹽又ハ鹽藏魚類ノ數量ヲ檢定スヘシ

第二十二條 第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ溜醬油釀造

用以外ノ用途ニ使用スル場合ニ於テハ鹽使用證明書ヲ溜醬油釀造ニ使用スル場合ニ於テハ

鹽使用證明書及醬油查定證明書ヲ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ鹽變性證明書ヲ以テ前項ノ鹽使用證

明書ニ代フルコトヲ得

第二十三條 前條ノ鹽使用證明書又ハ醬油査定證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用又ハ醬油査定ノ際申請書ヲ使用地所轄鹽務局又ハ稅務署ニ提出スヘシ

前條ノ鹽變性證明書ノ交付ヲ請求セムトスル者ハ鹽使用前申請書ヲ所轄鹽務局ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テハ鹽務局ハ第六條ニ準シ鹽ノ變性ヲ施スヘシ

第二十四條 帝國內又ハ帝國沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ漁獲物ノ數量、漁獲及鹽藏ノ場所竝漁獲物ノ移出先ヲ記載シタル申請書ヲ鹽藏地所轄鹽務局ニ提出シ鹽藏物ノ検査ヲ受クヘシ

前項ニ依ル鹽藏物ノ検査ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フ

第二十五條 遠洋又ハ外國若ハ外國ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者第十九條第四號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスルトキハ出漁前其ノ船舶名寄港地、出漁先及積載鹽ノ數量ヲ記載シタル申告書ヲ出港地所轄鹽務局ニ提出シ積載鹽ノ検査ヲ受クヘシ

前項ニ依リ申告ヲ爲シタル者歸港シタルトキハ申告書ヲ提出シタル鹽務局所在地又ハ其ノ鹽務局ノ指定シタル地ニ到リ前條第一項ニ準シタル申請書ヲ提出シ漁獲物及殘存鹽ノ検査ヲ受クヘシ

第二十六條 帝國內ヨリ出港シ帝國內他ノ場所又ハ其ノ沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者出港地所轄ノ鹽務局ニ申出其ノ許可ヲ受ケタルトキハ交付金下付ノ出願ニ付前條ノ規定ニ依ルコトヲ得

第二十七條 左ノ各號ノ一ニ該當スル場合ニ於テハ交付金ノ下付ヲ請求スルコトヲ得ス

一 外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後、溜醬油釀造用ヲ除クノ外第一條各號

ノ用途ニ使用シタル鹽ニ付テハ使用後溜醬油釀造ニ使用シタル鹽ニ付テハ醬油査定後六箇月ヲ經過シテ出願シタルトキ

二 外國ニ輸出スル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ一回ノ輸出量千斤未滿、第一條第一號乃至第五

號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ一回ノ使用量五百斤未滿、鹽鮭、鹽鱒、鹽鯨、鹽漬臘肭獸

ニ付テハ一回ノ検査數量千斤未滿ナルモノニ關シテ出願シタルトキ

三 第二十一條ノ輸出申告書又ハ第二十五條ノ申告書ニ記載シタル寄港地以外ノ内國沿岸

ニ寄港シタルトキ但シ海難其ノ他已ムヲ得サル事故アリタルトキハ此ノ限ニ在ラス

附 則

本令ハ鹽專賣法施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

右規定ニ基キ鹽及鹽藏物ノ輸出ニ關シ稅關事務取扱方ヲ訓令セラレタルモ第九章第七節ニ之ヲ記述スルコトトシ本章ニハ之ヲ省略ス

醬油釀造用鹽ハ特別定價ヲ以テ賣渡ヲ爲シ又ハ交付金ヲ下付スヘキコトトナレルヲ以テ其ノ使用ニ付テハ嚴密ナル調査ヲ要ス然ルニ醬油ノ釀造ニ付テハ課稅物件トシテ稅務署ニ於テ常ニ必要ノ取締ヲ爲セルヲ以テ鹽ノ使用ニ付テハ稅務官署ニ於テ管掌スルヲ便ナリトス依テ醬油釀造ニ使用スル鹽ノ使用證明ニ關シ稅務署事務取扱方ヲ左ノ如ク定メタリ

大藏省訓令第四十一號 (明治三十八年五月九日)

稅務監督局 稅務署

明治三十八年勅令第五百十七號ニ依リ醬油釀造ニ使用スル鹽ノ使用證明ニ關シ稅務署事務取扱方左ノ通心得ヘシ

第一條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ使用承認ヲ申請セムトス

ル者アルトキハ第一號甲書式ニ依リ買受年月日、數量、賣渡鹽務局名及使用ノ年月日、數量、場所ヲ記載シタル鹽使用承認申請書ヲ提出セシムヘシ

前項ノ申請アリタル場合ニ於テ稅務署ハ醬油製造検査簿又ハ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書等ニ照査シ不都合ナシト認メタルトキハ使用ノ承認ヲ與ヘ其ノ使用ニ付相當ノ監視ヲ施シ使用ノ事實ヲ確認スヘシ

第二條 前條ノ醬油釀造者鹽使用濟證明書ノ交付ヲ申請セムトスルトキハ第一號甲書式ノ申請書ヲ提出セシメ同號乙書式ノ證明書ヲ交付スヘシ

第三條 醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者其ノ未使用鹽ニ付承認ヲ申請スルトキハ第二號甲書式ニ依リ買受年月日、數量、賣渡鹽務局名及使用ノ年月日、數量、場所、未使用鹽ノ數量及事由ヲ記載シタル未使用鹽承認申請書ヲ提出セシメ鹽務局ヨリ發シタル鹽賣渡通知書及鹽使用濟證明申請書ニ照査シ其ノ未使用鹽ヲ検査シ同號乙書式ノ未使用鹽證明書ヲ交付スヘシ

第四條 第一條ノ證明ヲ受ケタル者ノ溜醬油ヲ査定シタルトキハ其ノ査定ト同時ニ殘存味噌ノ數量ヲ査定シ第三號書式ニ依リ醬油及味噌ノ査定數量、査定年月日ヲ記入シタル査定通知書ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ殘存味噌ナキトキハ査定通知書ニ其ノ旨ヲ記載スヘシ

第五條 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ以テ醬油釀造ニ使用シ其ノ使用證明ヲ申請セムトスル者アルトキハ第四號甲書式ニ依リ使用ノ年月日、數量及場所ヲ記載シタル使用證明申請書ヲ提出セシメ其ノ使用ヲ確認シ同號乙書式ノ使用證明書ヲ交付スヘシ

第六條 前條ノ證明ヲ受ケタル者ニシテ溜醬油ノ査定ヲ申出テタルトキハ其ノ數量ヲ査定シ第五號書式ニ依リ生引溜ナルト否トノ區別及査定數量、査定年月日ヲ記入シタル査定證明書

ヲ交付スヘシ

第七條 稅務署ハ第六號書式ノ鹽使用高臺帳ヲ設備シ醬油製造人別ニ整理シテ一箇年醬油製造見込高及鹽使用見込高ヲ記載シ鹽賣渡通知高鹽使用承認高未使用鹽承認高醬油及味噌ノ査定高ノ記入ヲ爲スヘシ

第八條 稅務署ハ第七號書式ニ依リ毎月末日鹽使用通知書ヲ作成シ之ヲ賣渡鹽務局ニ送付スヘシ

第九條 稅務署ハ第八號書式ニ依リ毎月末日鹽使用高報告表ヲ作成シ之ヲ稅務監督局ニ提出シ稅務監督局ハ同號書式ニ依リ翌月二十日迄ニ之ヲ大藏省ニ提出スヘシ
稅務署ハ毎年末ニ於テ番醬油及家用醬油ノ釀造ニ使用セル鹽ノ數量ヲ調査シテ第九號報告表ヲ作成シ前項報告表ニ添附スヘシ

第一號書式 (輪廓乙甲縦六寸横四寸五分)

鹽使用承認申請書(鹽使用濟證明申請書)

(甲)	
申請人 住所氏名	醬油製造人 何府縣何郡市町村何番地 何 某
申請	鹽買受年月日及數量 明治何年何月何日何斤 賣渡鹽務局名 何鹽務局 鹽使用年月日及數量 明治何年自何月何日何斤 至何月何日何斤 鹽使用場所 何郡市何町村何番地
事項	
申請年月日	明治何年何月何日
署長(調)査(證)明年月日	明治何年何月何日

未使用鹽證明書

(乙)	
申請人 住所氏名	醬油製造人 何府縣何郡市町村何番地 何 某
申請	鹽買受年月日及數量 明治何年何月何日何斤 賣渡鹽務局名 何鹽務局 鹽使用年月日及數量 明治何年自何月何日何斤 至何月何日何斤 鹽使用場所 何郡市何町村何番地 未使用鹽數量 何斤 同 事由 何々(仕込高減少ノ爲使用殘)
事項	
申請年月日	明治何年何月何日
右證明ス	何 稅務署 團
明治何年何月何日	

(乙)

申請人住所氏名	何府縣何都市何町村何番地 何 某
申請事項	鹽使用濟證明書 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所
申請年月日	明治何年何月何日
右證明ス	何 稅務署 印

第二號書式 (輪廓乙甲縱六寸橫四寸五分)

(甲)

申請人住所氏名	何府縣何都市何町村何番地 何 某 印
申請事項	未使用鹽承認申請書 鹽買受年月日及數量 賣渡鹽務局名 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 未使用鹽數量 同 事由
申請年月日	明治何年何月何日
署長 印	明治何年何月何日

第三號書式 (輪廓縱六寸橫四寸五分)

申請人住所氏名	何府縣何都市何町村何番地 何 某
查定事項	溜醬油查定通知書 生引溜查定數量 味噌查定數量 何石 何斤(無)
查定年月日	明治何年何月何日
右通知候也	何 稅務署 印

備考

一 查定事項ニハ生引溜、素引溜、ニ一ラ溜ノ查定高ヲ區分記入ス

第四號書式 (輪廓乙甲縱六寸橫四寸五分)

(甲)

申請人住所氏名	何府縣何都市何町村何番地 何 某 印
申請事項	鹽使用證明申請書 鹽使用年月日及數量 鹽使用場所
申請年月日	明治何年何月何日
署長 印	明治何年何月何日

(乙)

申請人 住所氏名	鹽使用證明書 何府縣何郡市何町村何番地 何 某
申請 事項	鹽使用年月日及數量 鹽使用場所 明治何年何月何日何斤 明治何年何月何日何斤 何郡市何町村何番地
申請 年月日	明治何年何月何日
右證明ス	何 稅 務 署 印

第五號書式 (輪廓縦六寸横四寸五分)

醬油製造 人住所氏 名	何府縣何郡市何町村何番地 何 某
證明 事項	生引溜査定數量 査定年月日 何石 明治何年何月何日
右證明ス	何 稅 務 署 印

備考

一申請事項ニハ生引溜素引溜、ニ一ラ溜ノ査定高ヲ區分記入スヘシ

第六號書式 (輪廓縦七寸横九寸)

(鹽使用高臺帳)

明治 鹽 使

醬油製造人 住所氏名	賣渡通知	
	年月日	數量
何郡市何町村何番地 何某	明治何年何月何日	何斤
何郡市何町村何番地 何某		

第八號書式 (輪廓縦六寸横九寸)

備考
一査定ノ欄ニハ醬油生引溜素引溜、ニ一ラ溜及味噌ヲ區分記入スヘシ

備考	使用高	鹽見	製造高	醬油	製造員	製場	製造數	高	査定	鹽高	未承認	使用承認
	何程	何石	何石	何程	何程	何程	何程	何斤	何斤	何斤	何斤	何斤

何月何日

何稅務署長官氏名 印

明治何年何月何日

何鹽務局

第七號書式

(輪廓縦六寸横九寸)

何年何月分
用通知書

承			認			查			定		
年月日	使用 數	濟量 斤	未使 鹽量 斤	年月日	數	量	區	別	引溜	生	引溜
明治何年何月何日	何	斤	何斤	明治何年何月何日	何	斤	何	石	生	引溜	何
明治何年何月何日				明治何年何月何日	何	斤	何	斤	味	噌	
明治何年何月何日				明治何年何月何日	何	斤	何	石	生	引溜	

何稅務署長官氏名

長宛

備考

一 查定高ノ欄ニハ醬油、生引溜、素引溜、ニ一ラ溜ノ查定高ヲ區分記入シ尙特別定價鹽ヲ使用シタルモノニ在リテハ味噌ノ有無及查定高ヲ併記スヘシ

製造場	所	何	某
何郡市何町何番地	製造人	何	某
見込高	普通醬油	何斤	何斤
溜醬油	賣渡通知	何斤	何斤
賣渡通知	認使用承	何斤	何斤
認使用承	未使用鹽	何斤	何斤
查定高	備考	何斤	何斤
局何鹽務	何斤	生引溜何斤	味噌何斤
何月何日			
何月何日			
何月何日			
何月何日			
何月何日			

第十章 交付金下付及追徴

明 治 何 年 分

番醬油及自家用醬油鹽使用高報告表

郡市名	番醬油				自家用醬油				備考
	製場	造數	製人	造員	製場	造數	製人	造員	
何郡	何	程	何	程	何	程	何	程	何

明治何年何月何日 何稅務署長官氏名

第九號書式

(輪廓縦六寸横九寸)

備考

一 製造場數、製造人員、醬油製造見込高及鹽使用見込高ハ一月分及七月分ノ外記入ヲ要セス

郡市名	賣渡通知	高
何郡	何斤	何斤
何	何斤	何斤
何	何斤	何斤
何	何斤	何斤
何	何斤	何斤

明治何年

明治三十八年十月ニ至リ鹽酸製造用鹽及選種用鹽ニ對シテモ交付金下付ノ必要ヲ認メ又味噌ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタルモノニ在リテハ其ノ味噌ニ對シテモ交付金ヲ下付スルコトトシ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ十月十日ヨリ之ヲ施行シタリ改正ノ要點左ノ如シ

一 工業保護ノ目的ヲ以テ鹽酸製造用鹽ニ對シ特別定價賣渡及交付金下付ヲ爲スコト

一 農業保護ノ爲メ選種用鹽ニ對シテモ肥料用鹽ト同シク特別定價賣渡ヲ爲スコト但シ交付金

下付ハ變性取扱上不便ナルヲ以テ之ヲ爲サス肥料用鹽ニ在リテモ之ヲ廢シタルコト

一味噌ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタルモノニ對シテハ其ノ味噌百斤ニ付十七錢ノ割合ヲ以テ交付

金ヲ下付スルコト

勅令第二百十四號 (明治三十八年十月七日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第二號中「曹達」ノ上ニ「鹽酸」ヲ、第三號中「肥料」ノ下ニ「選種」ヲ加フ

第五條第一項中「溜醬油釀造又ハ」ヲ削ル

第六條第一號乃至第六號ヲ左ノ如ク改ム

一 鹽酸、曹達、硫酸、曹達製造用

酸性硫酸曹達

石油

發煙鹽酸

苛性曹達

純硫酸

硫酸曹達

三

〇、五

二、五

二、五

二

六

二 晒粉製造用

純硫酸

滿俺鑛

三 石鹼製造用

石油

的列並油

石鹼粉末

椰子油

四 肥料選種用

無水炭酸曹達

硫酸曹達

石灰

沃度副產鹽

獸皮保存用

石油

六 鑛業用

滿俺鑛

石灰

硫酸鐵

... 晒粉製造用 ... 純硫酸 ... 滿俺鑛 ... 石鹼製造用 ... 石油 ... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 純硫酸 ... 滿俺鑛 ... 石鹼製造用 ... 石油 ... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 滿俺鑛 ... 石鹼製造用 ... 石油 ... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 石鹼製造用 ... 石油 ... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 石油 ... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 的列並油 ... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 石鹼粉末 ... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 椰子油 ... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 肥料選種用 ... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 無水炭酸曹達 ... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 硫酸曹達 ... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 石灰 ... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 沃度副產鹽 ... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 獸皮保存用 ... 石油 ...

... 石油 ...

... 滿俺鑛 ...

... 石灰 ...

... 硫酸鐵 ...

... 的列並油 ...

第十章 交付金下付及追徴

金、銀、銅、鐵ノ粉末又ハ其ノ汰物

五

石油

〇、五

硫化鐵

五

木炭粉末

二、五

石炭粉末

二、五

第十二條第三項中金十一錢五厘ヲ金十七錢ニ改ム

第十五條 第一條第一號又ハ第六號ノ用途ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル

者ハ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ稅務署又ハ鹽務局ノ交付シタル鹽使用證明書ヲ賣渡鹽務局

ニ提出スヘシ

前項ノ場合ニ於テ賣渡ノ日ヨリ一箇年以内ニ鹽全部ノ使用濟證明書ヲ提出スルコト能ハサ

ルトキハ其事由ヲ具シ未使用鹽ニ付一箇年毎ニ稅務署又ハ鹽務局ノ承認ヲ申請シ其ノ證明

書ノ交付ヲ受ケ之ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘシ

第十七條中第十五條ヲ削ル

第十八條 第五條ニ依リ提出シタル擔保ハ其ノ鹽ノ全部ヲ漁獲物鹽藏用ニ供シタルコトヲ證

明セラレタルトキ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ之ヲ解除ス

第十九條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 第一條第一號第二號第四號及第五號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽 百斤ニ付 金一圓三十錢

同條ニ左ノ一項ヲ加フ

味噌ヲ以テ溜醬油ヲ釀造シタル者ハ其ノ使用シタル味噌百斤ニ付金十七錢ノ割合ヲ以テ交

付金ノ下付ヲ政府ニ請求スルコトヲ得

第二十二條 第十九條ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ同條第一項第三號ノ場合ニ於テハ鹽使用證明書ヲ同條第二項ノ場合ニ於テハ味噌使用證明書ヲ申請書ニ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ

第一條第二號、第四號及第五號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ鹽變性證明書ヲ以テ前項ノ鹽使用證明書ニ代フルコトヲ得

第十九條第一項第三號ノ用途中溜醬油ヲ釀造シタル場合ニ於テハ第十二條第二項、第三項及第十七條ヲ準用ス

第二十三條第一項中醬油查定證明書ヲ味噌使用證明書ニ鹽使用又ハ醬油查定ノ際ヲ鹽又ハ味噌使用ノ際ニ改ム

第二十七條第一號ヲ左ノ如ク改ム

一 外國ニ輸出シタル鹽又ハ鹽藏魚類ニ付テハ輸出後、第一條第一號、第二號、第四號乃至第六號ノ用途ニ使用シタル鹽又ハ第十九條第二項ノ味噌ニ付テハ使用後六箇月ヲ經過シテ出願シタルトキ

同條第二號中、第一號乃至第五號ヲ第一號、第二號、第四號及第五號ニ改メ、使用スル鹽ノ下ニ又ハ第十九條第二項ノ味噌ヲ加フ

附 則

本令ハ明治三十八年十月十日ヨリ之ヲ施行ス

鹽專賣施行後醬油釀造用鹽ニ對シテハ特別定價賣渡及交付金下付ノ特典ヲ與ヘタルコト既ニ述フルカ如キモ其ノ施行後ノ實況ニ徴スルニ之カ執行ニ方リ十分ナル監督ヲ加フルトキハ官民共

第十章 交付金下付及追徴

ニ其ノ繁ニ堪ヘサルモノアルヲ以テ寧ロ專賣法上ニ於ケル特別定價賣渡及交付金ノ下付ヲ廢シ
 普通消費鹽ノ如ク一般定價ニテ之ヲ賣下クルト共ニ醬油稅率ヲ輕減スルコトノ利便ナルヲ認メ
 明治三十九年三月醬油稅則ヲ改正シ醬油造石稅カ非常特別稅ヲ合セテ一石ニ付稅金二圓五十錢
 ナリシヲ醬油諸味一石ニ付一圓七十五錢溜製成一石ニ付一圓六十五錢ニ低減スルト同年
 三月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ改正シ同勅令ノ特別用途中ヨリ醬油釀造用鹽ヲ削
 除シ該鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ヲ廢止スルコトトシタリ而シテ一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受
 ケタル鹽ヲ改正規則施行前ニ於テ醬油釀造ニ使用シタル者溜醬油ノ釀造ニ味噌ヲ使用シタル者
 及醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル者ニ對シテハ改正規則施行後ト雖仍舊
 規定ヲ適用スルコトトシ尙一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ改正規則施行後ニ於テ醬油釀造
 ニ使用スル者ニ對シテハ其ノ鹽ノ總量ヲ施行後三十日以内ニ使用地所轄稅務署ニ申告シ其ノ承
 認ヲ受ケタル場合ニ限り仍舊規定ヲ適用スルコトトセリ其ノ他同時ニ外國輸出鹽ニ關スル規定
 ヲ準用シテ鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ對シ特別定價賣渡又ハ交付金ノ下付ヲ爲ス
 コトトシ其ノ數量檢定ノ事務ハ移出地所轄鹽務局ニ於テ之ヲ行フコトトシ同年四月ヨリ改正規
 則ヲ施行シタリ

勅令第三十六號 (明治三十九年三月二十九日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第一號 削除

第二條中「醬油釀造者ヲ削ル

第二條第八條及第十六條中「第一號若ハ」ヲ削ル

第四條中「第一條第一號乃至第六號」第一條第二號乃至第六號ニ改メ「醬油釀造ニ使用セムトス
 ル場合ニ在リテハ普通醬油又ハ溜醬油釀造用ノ區別」ヲ削リ「帝國外」ヲ「鹽專賣法施行地外」ニ改ム

第十二條 削除

第十三條中「帝國外」ヲ「鹽專賣法施行地外」ニ改ム

第十五條中「第一號又ハ」及「稅務署又ハ」ヲ削ル

第十七條中「第十二條」ヲ削ル

第十九條第一項中「第一號及同條第二項」ヲ削ル

第二十二條 第十九條第三號ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ申請書ニ鹽使用證明

書ヲ添附シ之ヲ使用地所轄鹽務局ニ提出スヘシ但シ鹽變性證明書ヲ以テ鹽使用證明書ニ代

フルコトヲ得

第二十三條中「又ハ味噌使用證明書」ヲ削リ「鹽又ハ味噌」ヲ「鹽」ニ改メ「又ハ稅務署」ヲ削ル

第二十七條中「第一號」及「又ハ第十九條第二項」ノ味噌ヲ削ル

第二十八條 鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ノ特別定價賣渡及交付金下付ニ付テハ本

令中外國輸出鹽ニ關スル規定ヲ準用ス但シ第十一條第二項、第二十條及第二十一條第二項準
用ノ場合ニ於テ稅關ノ事務ハ移出地所轄鹽務局之ヲ行フ

附 則

本令ハ明治三十九年法律第十六號施行ノ日ヨリ之ヲ施行ス

一 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ醬油釀造ニ使用シタル者、本令施行前ニ
於テ溜醬油ノ釀造ニ味噌ヲ使用シタル者及醬油釀造ニ使用スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ
受ケタル者ニ對シテハ本令施行後ト雖仍舊規定ヲ適用ス

一 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行後ニ於テ醬油釀造ニ使用スル者ニ對シテハ其ノ
鹽ノ總量ヲ本令施行後三十日以内ニ使用地所轄稅務署ニ申告シ其ノ承認ヲ受ケタル場合ニ限

リ仍舊規定ヲ適用ス

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則制定後ニ於テ水産組合又ハ關係業者等ヨリ鱈、鯖、鰯、乾鰯其ノ他重要水産物ノ鹽藏用鹽、豚肉鹽藏用鹽、石灰、素麵、薄荷腦油等ノ製造用鹽及輸出乾鰯及乾鮑等ニ對シ特別定價又ハ交付金下付ノ特典ヲ認メラレムコトヲ建議又ハ請願シ來リシカ漁獲鹽藏物ニ對シ特別定價賣渡及交付金下付ノ特典ヲ與フルハ(一)外國輸入品ニ對抗スル爲保護ヲ要スル鮭、鱒、漁業用鹽(二)遠洋漁業獎勵ノ爲鱈、鯨、臘、獸鹽藏用鹽(三)外國輸出獎勵ヲ要スル鰵、鯖等ニ限リ鰹、鰯、乾鰯、乾鮑ノ如キハ此ノ趣旨ニ適合セサルノミナラス其ノ產地至テ廣クシテ殆ト全國各地ニ涉リ鹽藏者多數ナルヲ以テ鹽ノ使用ニ關スル實際ノ取締上至難ニシテ官民共ニ其ノ煩ニ堪ヘス又素麵、薄荷腦油ノ如キハ我邦ノ特産ニシテ海外競争品アルニ非ス石灰ノ如キハ海外輸出品ニ非ス又輸入競争品ニモ非ス加之使用鹽量微々タルモノナルヲ以テ之ヲ採用スルニ至ラザリキ

收納セサル再製鹽ヲ特別用途ニ使用シタルモノニ對シテハ交付金ヲ下付スヘキモノニアラサルヤ否ニ付明治三十九年一月大阪鹽務局長伺アリ一般定價賣渡ノ證明アルモノハ再製鹽ト雖交付金ヲ下付スヘキモノナルコトヲ回示シタリ

遠洋漁業者ニシテ臘、獸ヲ漁獲シ其ノ皮ノミヲ鹽藏スル爲ニ使用スル鹽ハ獸皮保存用、臘、獸鹽藏用ノ内何レヲ適用スヘキモノナルヤニ付同年二月仙臺鹽務局長ノ伺ニ對シ臘、獸鹽藏用トシテ取扱フヘキ旨回示シタリ

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者又ハ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ其ノ輸出鹽ヲ外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類ヲ賣渡鹽務局又ハ輸出港稅關ニ提出スヘキモノナルモ其ノ堪察加地方ニ輸出スルモノニ在リテハ同地方ニ右陸揚證明ヲ爲スニ足ルヘキ領事若ハ稅關等ノ設置ナク僅ニ其ノ地村長ノ證明ヲ得ルノ外途ナキニ依リ外國輸出鹽ノ獎勵

保護ノ爲當分堪察加地方ニ輸出スルモノニ限り便宜上鹽陸揚證明書ハ其ノ地村長ノ證明ヲ以テ足ルモノトシ明治三十九年六月左ノ如ク鹽務局長及稅關長へ通牒シタリ

大藏省主稅局長依命通牒主祕第二八八號 (明治三十九年六月二日)

△鹽務局長

外國ニ輸出スル爲特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類ヲ賣渡鹽務局ニ提出スヘキ規定ニ有之候處「カムサツカ」地方ニ在テハ右陸揚證明ヲ爲スニ足ルヘキ領事若ハ稅關等ノ設置ナク僅ニ其ノ地村長ノ證明ヲ得ルノ外途無之ニ付テハ當分右「カムサツカ」地方ニ輸出スルモノニ限り便宜上陸揚證明書ハ其ノ地村長ノ證明ヲ以テ足ルモノトシ御取扱相成度

大藏省主稅局長依命通牒主祕第二八八號 (明治三十九年六月二日)

△稅關長

一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ外國ニ輸出シ依テ交付金ノ下付ヲ請求セムトスル者ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ外國ニ陸揚シタルコトヲ證明スヘキ書類ヲ輸出港稅關ニ提出スヘキ規定ニ有之候處「カムサツカ」地方ニ在テハ右陸揚證明ヲ爲スニ足ルヘキ領事若ハ稅關等ノ設置ナク僅ニ其ノ地村長ノ證明ヲ得ルノ外途無之ニ付テハ當分右「カムサツカ」地方ニ輸出スルモノニ限り便宜上陸揚證明書ハ其ノ地村長ノ證明ヲ以テ足ルモノトシ御取扱相成度

鹽藏物ノ検査地ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ之ヲ行フヲ原則トスルモ鹽藏場所ノ如キ交通不便其ノ他特殊ノ事情アルカ爲管外移出地ニ於テ之カ検査ヲ爲スヲ便トスト認ムル場合ニ於テハ當業者ノ便宜上移出先ヲ其ノ検査地ニ指定シ得ルコトトシタリ

大藏省主稅局長依命通牒第二七三三號 (明治三十九年六月二十六日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條第六號及第十九條第四號ニ依ル鹽藏魚類ノ検査ハ鹽務局所在地又ハ鹽務局ノ指定シタル地ニ於テ行フヘキ規定ニ有之候處右指定地ハ必スシモ當該鹽務局又ハ出張所、所在地附近ニ限ラサル義ナルヲ以テ其ノ鹽藏場所ニシテ其ノ局所、所在地ヨリ出張シ得ヘキ相當ノ箇所ナルトキハ可成現場ニ出張ノ上之カ検査ヲ施行セラレ度尤モ其ノ距離非常ニ遠隔ナルカ又ハ交通不便其ノ他特殊ノ事狀アルカ爲メ管外移出地ニ於テ之カ検査ヲ便トスト認ムルトキハ移出先ヲ検査地ニ指定スルモ差支無之候此場合ニ於テハ移出先鹽務局ニ協議ノ上之ヲ定メ該検査ヲ囑託候様致度

外國又ハ外國沿海ニ於テ漁業用ニ供スル目的ヲ以テ外國ニ積出ス鹽ニ付テハ規則上漁業用鹽トシテ特別ニ規定スルアリ外國消費用トシテ一般ニ輸出スル場合トハ自ラ區別ノ存スルヲ以テ該鹽ハ輸出トシテ取扱ハス又其ノ積戻モ輸入トシテ取扱ハサルコトニ省議決定ノ上左ノ如ク通牒シタリ

第十章 交付金下付及追徵

大藏省主税局長依命通牒第二八七三號 (明治三十九年七月十日)

△税關長 鹽務局長

外國又ハ外國沿海ニ於テ漁業用ニ供スル目的ヲ以テ外國へ積出ヲ爲ス鹽ニ就テハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ於テ特別ノ規定モ有之次第ニ候
ヘハ同規則ニ依リ外國又ハ外國沿海ニ於テ漁獲ヲ爲ス者其ノ漁船ニ鹽藏用鹽ヲ積載シ内地ヲ出港スル場合ニ在リテハ其ノ鹽ハ輸出トシテ取扱ハス其ノ積
戻リモ亦輸入トシテ取扱ハサルコトニ省議決定致シ候間御承知相成度尙右決定ノ結果鹽務局ニ於テ外國又ハ沿海ニ於ケル漁獲物鹽藏用トシテ鹽ノ賣渡又
ハ検査ヲ爲シタルトキハ鹽務局ハ其ノ都度出港地稅關へ出漁者氏名、出漁船名、寄港地、出漁先、鹽ノ數量及其ノ賣渡又ハ検査月日等ヲ通知候事ニ御取扱相
成度

海豚ノ皮ヲ製革用ニ保存ノ爲使用スル鹽ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ノ獸皮保存用
ノ範圍内ナルヤ否明治三十九年八月金澤鹽務局長ノ照會ニ對シ海豚皮保存用鹽モ獸皮保存用鹽
トシテ同規則ノ適用ヲ受クヘキモノナキコトヲ回示シタリ

内地ト租借地トノ間ニ於ケル貨物ノ出入ハ之ヲ輸出入ト看做スコトニ左記ノ如ク決定セラレタ
ル結果本邦ヨリ租借地ニ輸出スル鹽ニ付テハ外國輸出鹽ト同一ニ取扱フコトトナレリ

大藏省主税局長依命通牒 (明治三十九年八月二十五日)

△税關長

(前略)大連ヲ自由港ト爲スノ結果本邦トノ通商關係ハ左記ノ如ク實施スヘキコトニ決定相成候尤モ左記各號中ニハ不日勅令ヲ以テ定メラルヘキモノモ可
有之候此段依命及通牒候也

- 一 租借地トノ往復船ハ日本船舶ト雖モ本邦開港ニ非ラサレハ出入スルヲ得サルモノトス
- 二 本邦ト租借地トノ間ニ於ケル貨物ノ出入ハ本邦ニ於テ之ヲ輸出入ト看做スコト
- 三 本邦租借地間貿易ニ從事スル船舶ニハ本邦ニテハ關稅法中外國貿易船ノ手續ヲ履行セシムルコト
- 四 租借地ノミニ往來スル船舶ニハ本邦入港ノ時ニ噸稅ヲ課セサルコト
- 五 租借地生産ノ貨物ニハ協定稅率ヲ適用スルコト
- 六 租借地ニ輸出スル酒精、酒類、醬油、織物、賣藥、骨牌等ニ對シテハ戻稅、免稅其ノ他ノ特典ヲ與フルコト
- 七 政府專賣品ヲ租借地ニ輸出スルトキハ外國輸出ト同一ニ取扱フコト
- 八 輸入禁制ノ取扱モ亦外國ヨリ輸入スルト同様ナルコト

鹽交付金ハ特別定價ト一般定價トノ差額ヲ標準トシ鹽百斤當交付金額ヲ具體的ニ定メラレタル
ヲ以テ鹽賣渡價格改正アラムカ自然交付金額ニモ影響シ其ノ都度勅令ヲ改正セサルヘカラルノ
煩累アリ依テ明治三十九年十一月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ヲ左ノ如ク改正シタリ

勅令第二百九十三號 (明治三十九年十一月二十四日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第十九條第一號中「鹽百斤ニ付金一圓四十八錢ヲ輸出鹽ニ對スル特別定價ト一般定價トノ差額」

ニ改メ、同條第三號中「鹽百斤ニ付金一圓三十錢ヲ使用鹽ニ對スル各特別定價ト一般定價トノ差額」ニ改ム

額ニ改ム

右ノ如ク改正シタルモ交付金額ニ在リテハ毫モ從來ト異ナル所ナシ然ルニ外國ニ輸出スル鹽ニ在リテハ專賣益金ヲ加算セス收納原價ニテ賣渡シタリシヲ以テ往々名ヲ輸出ニ藉リ廉價ニテ賣渡ヲ受ケ之ヲ他ノ用途ニ轉用シ不正ニ其ノ差額ヲ利得セムトスル者ヲ生スルニ至リシニ依リ明治四十年四月鹽賣渡價格ヲ改正シ外國輸出ノ爲メ特別定價賣渡ニ係ル鹽ハ他ノ特別定價鹽ト同シク賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ニ專賣收入率即チ百斤ニ付十八錢ヲ加算シタルモノトナシ其ノ交付金ハ百斤ニ付一圓三十錢ノ割合ニ變更シ左ノ通牒ヲ爲シタリ

大藏省主稅局長通牒第四八五一號 (明治四十年四月一日)

△稅 關 長

外國輸出ノ爲特別定價賣渡ニ係ル鹽ハ賣渡當時ノ品質ニ相當スル賠償價格ニ專賣收入率即百斤ニ付金十八錢ヲ加算シタルモノニ依ルコトト改定四月十日ヨリ施行ノ結果輸出鹽ニ對スル交付金額ハ特別定價ト一般定價トノ差額即百斤ニ付金一圓三十錢ノ割合ニ變更可相成條御了知相成度尙一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ右施行前ニ於テ外國ニ輸出シタル者ニ對シテハ施行後ト雖仍舊賣渡價格即百斤ニ付金一圓四十八錢ノ交付金ヲ下付スヘキ義ト御含置相成度

明治四十年四月更ニ左ノ事項ニ付同規則中改正ヲ加ヘ四月十日ヨリ之ヲ施行シタリ

- 一 牛馬等家畜用ニ供スル鹽ニ付特別定價拂下ケノ請願アリ之カ發育ヲ保護スルノ要アリト認
- メ特別定價鹽中ニ家畜用鹽ヲ加ヘタルコト(肥料選擇種用鹽ト同シク交付金ノ下付ヲナサス)
- 一 外國輸出鹽ハ變性ヲ施ササルヲ以テ其ノ特別定價賣渡ニ係ルモノハ廉價ナルカ爲一般用途
- ニ轉用スルノ虞アルヲ以テ政府ニ於テ損害ナキヲ確保スル爲賣渡請求者ヲシテ漁業用鹽ト

同シク擔保ヲ提供セシムルコトトシタルコト其ノ擔保額ハ特別定價ト一般定價トノ差額即

一 千百斤ニ付一圓三十錢トス

一 變性混和物ノ量ヲ變更シタルコト

一 各鹽藏魚類ノ使用鹽量ヲ改定シタル結果其ノ交付金額ニ異動ヲ生シタルコト

一 鹽藏魚類中從來ノ鱈ヲ鹽鱈、開鱈、無骨開鱈ニ、鯨ヲ鹽鯨、赤肉、鹽鯨尾羽ニ細別シ各其ノ使用鹽量

ヲ定メタルコト

勅令第百九號 (明治四十年四月一日)

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條第三號ヲ左ノ如ク改ム

三 肥料、選種、家畜用

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム

外國ニ輸出シ又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル鹽ニ付テハ賣渡請求者ヲシテ百斤ニ付金

一圓三十錢ノ割合ニ依リ擔保ヲ提供セシムルコトヲ得

第六條ニ左ノ一號ヲ加フ

四ノ二 家畜用

辨柄

○・一ニ當藥粉 ○・二五ヲ混シタルモノ

同條中「石油 ○五ヲ石油一ニ、石灰一 ○ニ灰四ヲ混シタルモノ」ヲ「石灰五ニ灰四ヲ混シタルモノ」ニ

改メ「沃度副產鹽」ノ次ニ左ノ如ク加フ

當藥粉

○・二五ニ油煙 ○・〇五ヲ混シタルモノ

魚油

○・〇五ヲ混シタルモノ

第十三條第三項ヲ左ノ如ク改ム 四 且鹽事賣取中ノ如キハ行ハレテハ其ノ計開求通賣額又交付金ニ付

出賣 鹽務局ノ證明スル鹽使用濟數量ハ鹽藏物ノ重量百ニ對シ左ノ割合ヲ以テ之ヲ計算ス

又ハ再賣鹽 鹽量ニ對シテハ一ノ百ノ一ニ付再賣額四十五ノ三且對出賣額同ノ再賣額

對出再賣額 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

又ハ再賣鹽 鹽 交付金本法對出賣額モ且再賣額五十五ノ三對出賣額ノ對出賣額ノ對出賣額

第十八條中「漁獲物鹽藏用」ノ上ニ「外國ニ輸出シ若ハ」ヲ加フ

第十九條第二號中左ノ如ク改ム

鹽水漬鰾 百斤ニ付 金六十七錢

鹽漬鰾 百斤ニ付 金五十九錢

鹽水漬鱒 百斤ニ付 金六十七錢

同條第四號ヲ左ノ如ク改ム

四 第一條第六號ノ用途ニ使用シタルトキ

鹽 百斤ニ付 金五十八錢

鹽 百斤ニ付 金七十一錢

第十章 交付金下付及追徴

鹽鱈	百斤ニ付	金三十二錢
開鱈	百斤ニ付	金四十一錢
無骨開鱈	百斤ニ付	金一圓四錢
鹽鯨赤肉	百斤ニ付	金三十五錢
鹽鯨尾羽	百斤ニ付	金五十二錢
鹽漬臘豚獸	百斤ニ付	金一圓三十錢

附則

本令ハ明治四十年四月十日ヨリ之ヲ施行ス

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ第一條第六號ノ用途ニ使用シタル者及
 一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ本令施行前ニ於テ第十九條第二號又ハ第四號ノ目的ニ供
 シタル者ニ對シテハ本令施行後ト雖仍舊規定ヲ適用ス

鹽交付金額ノ改正アリタル場合ニ於テ移出鹽ニ對スル交付金ハ陸揚シタル時ノ交付金率ニ依ル
 カ又ハ出港シタル時ノ交付金率ニ依リ下付スヘキカニ付明治四十年七月札幌鹽務局長伺ニ對シ
 既ニ移出ノ申告ヲ爲シ積載鹽ノ検査ヲ受ケ出港シタル以上ハ既ニ移出ノ狀態ニ移リタルモノナ
 ルヲ以テ出港シタル時ノ交付金率ニ依リ下付スヘキモノナルコトヲ回示シタリ

輸出再製鹽ニ對スル交付金ハ一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽即チ使用原料鹽ノ數量ニ依ルカ
 又ハ輸出當時ノ數量ニ依ルヘキモノナルヤニ付明治四十一年三月阪出收納所長伺アリ再製鹽輸
 出當時ノ検査數量ニ依リ交付金ヲ下付スヘキコトニ決定回示シタリ

鹽賣捌制度劃立ノ爲明治四十一年四月鹽專賣法中ノ改正ヲ行ヘリ特別定價賣渡及交付金下付ニ
 關スル規定ヲ抄記スレハ左ノ如シ

法律第五十九號（明治四十一年四月二十八日）

鹽專賣法中左ノ通改正ス（抄録）

第十九條 左ニ掲クル場合ニ於テハ政府ハ命令ノ定ムル所ニ依リ特ニ定メタル價格ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スコトヲ得

一 外國ニ輸出シ又ハ本法ヲ施行セサル地ニ移出スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ

二 命令ヲ以テ指定スル用途ニ使用スル爲賣渡ヲ請求スル者アリタルトキ

三 前各號ノ外特ニ命令ヲ以テ定メタル場合ニ該當スルトキ

前條又ハ前項第三號ニ依リ賣渡シタル鹽ニシテ外國ニ輸出シ、本法ヲ施行セサル地ニ移出シ又ハ命令ノ定ムル用途ニ使用セラレタルトキハ命令ノ定ムル所ニ依リ交付金ヲ下付ス

右改正ニ基キ明治四十一年六月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中ニ改正ヲ加ヘ交付金下付ニ關シ左ノ事項ヲ改メ七月一日ヨリ施行シタリ

一 專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ第一條ノ二ヲ追加シ鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲ス場合ヲ左ノ如ク限定シタルコト

イ 鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ

ロ 鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササルトキ

右ハ政府カ鹽元賣捌人以外ノ者ニ賣渡ス場合ニシテ其ノ鹽ノ賣渡價格ハ特別定價ト稱スルモ鹽賠償價格ニ專賣收入率ヲ加ヘタルノミニテ元賣捌人賣ノ如ク五分引ヲ爲ササルモノナルニ依リ寧ロ普通定價ヨリ高價ナリ故ニ規則第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽ヲ特定ノ用途ニ供シタルトキハ其ノ請求ニ依リ交付金ヲ下付スヘキモノトス

一 右ノ如ク二様ノ特別定價ヲ生シタル爲規則中從來低廉ナル鹽ニ對シ特別定價鹽ナル文字ヲ

使用シタリシモ之ヲ削除シ尙交付金ヲ受クヘキ鹽ヲ從來「一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ト稱セシモ」鹽專賣法第十八條又ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽ト改メタルコト

一 特別定價鹽ノ目的變更ノ許可ヲ出願スル場合ニ於テ外國ニ輸出スル者又ハ魚類鹽藏者ニ讓渡セムトスルモノナルトキハ取締上讓受人ノ連署ヲ要件トシタルコト

變性鹽ニシテ「アルカリ」工業用、肥料、選種、家畜用、獸皮保存用、鑛業用中相互ノ變更ニ付テハ目的變更ノ許可出願ヲ要セス其ノ旨ヲ申告セシムルニ止メタルコト

一 一般定價ノ變性鹽ニシテ外國輸出、魚類鹽藏用又ハ普通消費費用ニ目的ヲ變更セムトスルモノニ付テハ其ノ許可ヲ要スルコトトシ又變性鹽ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ特別定價鹽ノ如ク單ニ申告ニ止メタルコト

一 一旦外國ニ輸出シ交付金ノ下付ヲ受ケタル鯧、鯧ノ鹽藏魚類ヲ輸入シタルトキハ輸入港稅關ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徴スルコトトシタルコト

勅令第五十二號（明治四十一年六月十五日）
專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條ノ二 鹽專賣法第十九條第一項第三號ニ依リ特別定價ヲ以テ鹽ノ賣渡ヲ爲スハ左ノ場合ニ限ル

- 一 鹽賣捌人ニ非サル者一回一萬斤以上鹽ノ賣渡ヲ請求シタルトキ
- 二 鹽元賣捌人カ大藏大臣ノ定ムル制限價格以內ニ於テ鹽ノ販賣ヲ爲ササルトキ

第五條第二項中「又ハ鹽務局長ノ確實ト認メタル有價證券ニ限ル」ヲ「國債證券、地方債證券又ハ專賣局長官ノ指定シタル株式會社ノ株券若ハ債券ニ限ル」ニ改ム

第六條中特別定價ヲ以テ賣渡シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用セラルルモノヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ニ改ム

第七條中變性ヲ施シタル鹽ヲ變性ヲ施シタル鹽及第一條ノ二ニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽ニ改ム

第八條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲鹽ノ賣渡ヲ受ケタル者賣渡請求書ニ記載シタル目的ヲ變更セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ賣渡鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ但シ外國ニ輸出スル者又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル者ニ讓渡セムトスルトキハ讓受人ノ連署ヲ要ス

第六條ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ニシテ第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ニ付テハ前項ノ出願ヲ要セス賣渡鹽專賣官署ニ其ノ旨ヲ申告スヘシ

外國ニ輸出スル爲又ハ第一條第六號ノ用途ニ使用スル爲賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號ノ用途ニ使用シ又ハ使用スル者ニ讓渡スルノ出願ヲ爲シタル場合ニ於テハ第六條ノ規定ヲ準用ス

第九條 外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲賣渡シタル鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ鹽專賣官署ハ賣渡當時ノ數量ニ依リ其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ一ニ相當スル金額ヲ追徴ス

第十六條第一項中特別定價ヲ以テ外國ニ輸出スル爲又ハ第一條ノ用途ニ使用スル爲ニ改メ特別定價ト一般定價トノ差額及其ノ十分ノ一ヲ其ノ定價ト第一條ノ二ニ依ル定價トノ差額及其ノ五分ノ二ニ改ム

第十七條中及前條ヲ第十六條及第二十一條ノ二ニ改ム

第十九條中一般定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ鹽專賣法第十八條又ハ本令第一條ノ二ニ依リ賣渡シタル鹽ニ改メ第一號及第三號中一般定價ヲ第一條ノ二ニ依ル定價ニ改ム

第二十一條ノ二 第十九條第二號ニ依リ交付金ノ下付ヲ受ケタル鹽藏魚類ヲ輸入シタルトキ

ハ輸入港稅關ニ於テ其ノ輸入者ヨリ交付金ニ相當スル金額ヲ追徵ス

第二十三條ノ二 前條第三項ニ依リ變性ヲ施シタル鹽ヲ第一條第二號乃至第五號以外ノ目的

ニ供セムトスルトキハ其ノ事由ヲ具シ其ノ地所轄ノ鹽專賣官署ニ變更ノ許可ヲ出願スヘシ

第一條第二號乃至第五號ノ用途中相互ノ變更ヲ爲シタルトキハ其ノ旨ヲ申告スヘシ

第一項ノ場合ニ於テ其ノ鹽ヲ外國輸出及第一條ノ用途以外ニ供スルコトヲ許可スルトキハ

第九條ノ規定ヲ準用ス

第一項ノ場合ニ於テ許可ヲ受ケスシテ其ノ目的ヲ變更シタル者ニ付テハ第十六條ノ規定ヲ準用ス

第二條乃至第四條、第十條、第十一條、第十三條乃至第十五條及第十六條第二項中、特別定價ヲ以テ
ヲ削ル

「鹽務局」ヲ「鹽專賣官署」ニ改ム

附 則

本令ハ明治四十一年七月一日ヨリ之ヲ施行ス

鯨鱒ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ所謂鱒中ニ包含セルヤ否ニ付明治四十一年十一月包含セサルコトニ決定シタリ

外國へ輸出スル鹽ニシテ一旦外國輸出ノ手續ヲ完了シテ出港シタル以上ハ縱令內國產品タルコ

ト明瞭ナルモ其ノ積戻ハ輸入禁制品ノ取扱ヲ爲スヘキモノナルカ故ニ此ノ場合ニ於テハ稅關ニ

於テ之ヲ構内ニ假陸揚ヲ許ササルコトトシ總テ歐米鹽同様ノ輸入手續ヲ爲サシムルコトニ省議

ヲ決定シ移出鹽ニ對シテモ之カ積戻ヲ許ササルコトトシ左ノ如ク通牒シタリ

專賣局長官通牒甲第二三一號 (明治四十二年一月二十二日)

△ 稅 關 長

近來往々外國輸出鹽ヲ積戻ルモノ有之趣聞及候然ルニ一旦外國輸出ノ手續ヲ完了シテ出港シタル上ハ縱令內國產品タルコト明瞭ナルモ其ノ積戻鹽ハ輸入禁制品ノ取扱可相成ハ勿論ノ儀ニ有之候處萬一天候其ノ他止ムヲ得サル事由ニ依リ直ニ之ヲ再輸出シ能ハサルモノニ對シテハ稅關ニ於テ之ヲ構内ニ假陸揚ヲ許ササルコトトシ總テ歐米鹽同様に輸入手續ヲ爲サシムルコトニ省議決定候條右輸出鹽ノ積戻アリタルトキハ所轄專賣局收納所ト協議ノ上輸入手續ヲ爲サシムルコトニ御取扱相成度

專賣局收納部長依命通牒甲第二三一號 (明治四十二年一月二十二日)

△ 收 納 所 長

別紙寫之通り各稅關へ通牒相成候條移出鹽ニ對シテモ之カ積戻リヲ許容セサルコトニ取扱相成度若シ直ニ之ヲ再移出シ能ハサルモノ有之候ハハ當該收納所ニ於テハ之ヲ其地ニ假陸揚ヲ許ササルコトトシ臺灣鹽受入ノ手續ニ準シ收納所長ノ適當ト認ムル支拂金ヲ所有者ニ交付シテ鹽ノ受入ヲ爲スト同時ニ指定引渡ノ手續ニ準シ百斤ニ付二圓三十錢ヲ加算シタル賣渡價格ヲ以テ之ヲ買受ケシムルコトニ取扱相成度

追テ關係稅關ヨリ輸入積戻鹽ニ對スル協議ヲ受ケタルトキハ歐米鹽輸入ノ手續ニ準シ適當ノ支拂金ヲ所有者ニ交付シテ鹽ノ受入ヲ爲スト同時ニ歐米粗製鹽ノ收益率(二圓三十錢)ヲ加算シテ直ニ之ヲ買受ケシムルコトニ取扱相成度

輸入ノ命ヲ受ケサル專賣品ヲ外國商館ニ注文シ該品到達ノ上我開港内ニテ之ヲ買受ケ他ノ外國貿易船ニ船移ヲ爲シ該船ニテ直ニ(若ハ他ノ開港ニ回送シ同地ニ於テ更ニ他ノ外國貿易船ニ船移シ)之ヲ他ノ外國ニ積戻ス者アリシヲ以テ左記事項ニ付省議ヲ決シタリ

- 一 輸入ヲ命セサル專賣品ニシテ外國へ積戻スモノニ對シテハ取締上周密ノ注意ヲ拂フト共ニ他ノ一般外國貨物同様之ヲ輸入トシテ取扱ハサルコト
- 二 右專賣品ノ假陸揚ヲ出願スルモノアルトキ稅關ニ於テ差支ナキ限リハ之ヲ稅關假置場ニ陸揚ヲ許可シ相當取締ヲ爲スト同時ニ所轄專賣局收納所ニ通知スルコト
- 三 保稅倉庫ニ庫入スルコトヲ出願スル者アルモ保稅倉庫ハ政府ニ於テ輸入ヲ命セサル專賣品ノ如キ何人モ自由ニ輸入シ得ヘカラサル物品ヲ藏置スヘキモノニ非サルニ依リ絶對ニ其ノ庫入ヲ許可セサルコト

四 以上ノ取扱ヲ受ケ外國ニ於ケル漁場ニ積戻シタル鹽ヲ以テ鹽藏シタル漁獲物ヲ内地ニ輸入陸揚スルニ際シテ生スル落鹽、殘存鹽ヲ輸入セムトスル者アルトキハ「ハム」、「ペーコン」等包藏鹽ニ對スル取扱ノ例ニ依ルコト

專賣局長官通牒甲第三三三號（明治四十二年一月二十九日）

△ 稅 關 長

近時往々輸入ノ命ヲ受ケサル專賣品ヲ外國商館ニ注文シ該品到達ノ上我開港内ニテ之ヲ買受ケ他ノ外國貿易船ニ船移ヲ爲シ該船ニテ直ニ（若クハ他ノ開港ニ回送シ同地ニ於テ更ニ他ノ外國貿易船ニ船移シ）之ヲ他ノ外國ニ積戻ス者有之ニ付之ニ對スル取扱方左記ノ通り省議決定候條此段及御通牒候也

一 開港内ニ於テ買受ケタル專賣品ヲ他ノ外國貿易船ニ船移シ更ニ外國ニ積戻ス場合ニ於テハ取締上周密ノ注意ヲ拂フト共ニ他ノ一般外國貨物同様之ヲ輸入トシテ取扱ハサルコト

二 船繰ノ都合上直ニ他ノ外國貿易船ニ船移スルコト能ハサル爲專賣品ノ假陸揚ヲ出願スルモノアルトキ稅關ニ於テ差支ナシト認ムルトキハ之ヲ稅關假置場ニ陸揚セシメ相當取締ヲ爲スト同時ニ所轄專賣局收納所ニ其ノ品名、種類、數量、仕入地、仕向地、藏置期間、其ノ荷主ノ住所氏名等ヲ通知スルコト

三 前項ノ場合ニ於テ專賣品ヲ保稅倉庫ニ庫入スルコトヲ出願スル者アルトキハ假令當該稅關ニ假置場ノ設備ナキ場合又ハ其ノ他ノ事由ヲ以テスルモ保稅倉庫ヘノ庫入ハ之ヲ許可セサルコト

四 以上ノ取扱ヲ受ケ外國ニ於ケル漁場ニ積戻シタル鹽ヲ以テ鹽藏シタル漁獲物ヲ内地ニ輸入陸揚スルニ際シテ生スル落鹽及殘存鹽ヲ輸入セムトスル者アルトキハ「ハム」、「ペーコン」等包藏鹽ニ對スル現時ノ取扱ニ依リ關係稅關ヨリ之ヲ所轄專賣局收納所ヘ通知スルコト

專賣局收納部長通牒甲第三三三號ノ二（明治四十二年一月二十九日）

△ 收 納 所 長

別紙之通各稅關長ヘ通牒相成候ニ付テハ關係稅關ヨリ第二項ノ通知ヲ受ケタルトキハ關係稅關ト協議ノ上相當監視ヲ怠ラサル様注意可相成ハ勿論第四項ノ通知ヲ受ケタルトキハ客年十二月二十四日丁第七五八五號ヲ以テ及通牒置候通取扱相成可然尤モ其ノ賣渡價格ハ自今其ノ產地ノ孰レタルヲ問ハス總テ支拂金ニ歐米鹽ノ專賣收益率ヲ加算シテ之ヲ定ムル儀（關東州鹽ヲ使用シタル鹽藏物ノ落鹽及殘存鹽ノ如キハ粗製歐米鹽ノ收益率即チ二圓三十錢ヲ加算シテ之ヲ定ム）了知相成度 右依命

鹽專賣法第十八條又ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノ二ニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ輸出シ若ハ漁獲物鹽藏用ニ供シタル場合ニ於テ其ノ鹽若ハ漁獲物カ災害ニ因リ消失シタル

トキハ右規則第二十條又ハ第二十四條乃至第二十六條ノ請求要件ヲ具備セサル者ニ對シテハ交付金ヲ下付セサルコトニ局議ヲ決定シ左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第七三六號 (明治四十二年三月四日)

專賣法第十八條又ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第一條ノニ依リ賣渡ヲ受ケタル鹽ヲ輸出シ若ハ漁獲物鹽藏用ニ供シタル場合ニ其ノ鹽若ハ漁獲物カ災害ニ因リ消失シタルトキハ右規則第二十條又ハ第二十四條第二十五條第二十六條ノ請求要件ヲ具備セサル者ニ對シテハ交付金ヲ下付セサルコトニ局議決定相成候條右ニ據リ御取扱相成度 右依命

追テ特別定價賣渡鹽ノ災害ニ因リ消失セシ場合ハ明治三十八年十一月十一日臨第四七三五號主稅局長通牒ノ主旨ニ據リ御取扱可然猶爲念別紙通牒寫相

添申候

大藏省主稅局長通牒臨第四七三五號 (明治三十八年十一月十一日)

特別定價ヲ以テ賣渡ヲ受ケタル鹽ノ全部又ハ一部ヲ災害ニ因リ消失シタルモノアル場合ニ鹽務局ニ於テ罹災ノ事實ニ關シ確實ノ心證ヲ得タルトキハ其ノ部分ニ限リ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則第十六條ノ追徵金ヲ徵セサルコトニ省議決定相成候條右ニ據リ御取扱相成度此段及通牒候也

鯨里俗「すけとうたら」ハ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中ノ鱈ニ包含スルヤ否ニ付明治四十二年三月包含スルモノト決定シタリ

漁獲物鹽藏ノ検査ニ際シ漁獲者ニ不正行爲ノ有無ニ付確的ノ證據ナキ場合ニ於テ時ニ或ハ交付金又ハ鹽使用濟證明書ヲ詐取セラルル危險アルニ依リ其ノ確證アルモノハ勿論當該検査官吏ニ於テ周密ナル調査ヲ爲シタル結果漁獲者ニ不正行爲アリト認メ得ヘキ漁獲鹽藏物ニ對シテモ其ノ認定ニ依リ不正部分ニ對スル交付金又ハ鹽使用濟證明書ヲ下付セサルコトニ省議ヲ決定シ左ノ如ク通牒シタリ

專賣局收納部長通牒甲第一〇四一號 (明治四十二年三月三十一日)

從來漁獲鹽藏物ノ検査ニ際シ漁獲者ニ不正行爲アリトノ確證アル場合ニ在リテハ交付金又ハ鹽使用濟證明書ヲ交付セサルヘキハ勿論ノ義ニ有之候處尙當該臨検査吏ニ於テ周密ナル調査ヲ爲シタル結果漁獲者ニ不正行爲アリト認メ得ヘキ漁獲物ニ對シテモ其ノ認定ニヨリ不正部分ニ對スル交付金又ハ鹽使用濟證明書ヲ下付セサルコトニ省議決定候條自今右ニ依リ御取扱相成度 右依命

第十章 交付金下付及追徵

漁獲物鹽藏用鹽ハ假令外國ニ於テ漁獲鹽藏スルモノト雖規則上漁業用鹽ノ手續ニ依ルハ勿論ナルモ此ノ取扱ニ出ルトキハ交付金ノ下付又ハ擔保ノ解除ヲ受クルニハ一々鹽藏物ノ検査ヲ受クルヲ必要トシ爲ニ長期間資本ヲ固定スルノ虞アリテ漁業資金ノ融通上不便アルノミナラス漁獲物ト同時ニ殘存鹽ノ検査ヲ受クルヲ要シ又ハ使用鹽ノ數量カ買受ケタル鹽ノ數量ニ不足シタル場合ニ追徵金ヲ納付セサルヘカラス又鹽藏物ヲ内國ニ輸送スル途中萬一海難等ノ爲之ヲ喪失シタルトキハ交付金ノ下付若ハ擔保ノ解除ヲ受クルヲ得サル危險アリ然ルニ外國若ハ外國沿海ニ於テスル漁業用鹽ヲ輸出鹽トシテ取扱ハルルニ於テハ上記ノ諸點ハ總テ之ヲ避クルコトヲ得ルヲ以テ明治四十二年三月露領沿海州水産組合ヨリ輸出鹽トシテ取扱ハレ度旨請願アリ依テ(一)各漁業者ノ住所氏名、漁場、漁獲物ノ種類、漁獲見込高、鹽使用見込高等ハ毎年豫メ組合ヨリ專賣局ニ届出置クコト(二)漁獲鹽藏物ヲ内國ニ輸送シタルトキハ組合ヨリ鹽藏者住所氏名、漁場、漁獲物ノ種類、數量、鹽使用高竝鹽藏物輸入港等ヲ輸入港所轄專賣局收納所ニ届出ルコト(三)漁期ノ終リニ於テ使用殘鹽アルトキハ組合ヨリ漁業者ノ住所氏名、殘存鹽所在ノ漁場竝其ノ數量等ヲ鹽輸出港所轄專賣局收納所ニ届出ルコト(四)前項ノ場合ニ於テ組合ハ翌年鹽輸出ノ際右殘存鹽ト差引シ適當ナル額ヲ輸出セシムルコト(五)輸出シタル鹽ハ復ヒ之ヲ内國ニ積戻ラシメサルハ勿論密輸入其ノ他不正ノ行爲ナカラシムルコト萬一之ヲ積戻リタルトキハ普通外國鹽ノ取扱ニ依リ輸入ノ手續ヲ爲スハ勿論同時ニ輸入價格ニ百斤ニ付二圓三十錢以上ノ專賣率ヲ加ヘタル價格ヲ以テ輸入者ニ於テ直ニ買受ケシムルコト(六)輸出鹽ト漁業用ノ手續ヲ爲シタル鹽トヲ積合シ漁場ニ輸送セシメサルハ勿論輸出鹽使用ノ鹽藏物ト漁業用手續ヲ爲シタル鹽ヲ使用シタル鹽藏物トヲ積合シ輸入セ

シメサルコト(七)輸出鹽ヲ使用シタル鹽藏物ヲ内國ニ密輸入セシメサルハ勿論之ト内國若ハ内國沿海ニ於テ漁獲シタル鹽藏物トヲ積合サシメサルコト(八)其ノ他交付金ノ下付又ハ擔保ノ解除ニ付不正ノ行爲ヲ爲サシメサルコト(九)輸出鹽ヲ外國ニ陸揚シタル證明書ハ「カムチャツカ」以外ノ露領沿海州ニ於テハ稅關若ハ領事ノ證明タルヲ要スルコトトナレルモ沿海州ニ於ケル漁場ハ各所ニ散在シ稅關若ハ領事ノ證明ヲ得ルコト至難ノ場合少カラサルニヨリ自今右證明書ハ總テ陸揚地郡長又ハ町村長ノ證明ヲ以テ之ニ代ヘ若シ郡長又ハ町村長ノ證明ヲ得ル能ハサル場合ニ於テハ所在地露國官公衙ノ證明ヲ以テ之ニ代フルコト而シテ組合員ハ必ス貴局ニ於テ豫メ承認セラレタル形式ヲ完備シタル證明書ヲ提出スルハ勿論不完全ト認メラレル證明書ヲ提出シテ交付金ノ下付若クハ擔保ノ解除ヲ請求スルカ如キコトナキコト(十)其ノ他鹽專賣ニ關スル法規類ヲ確守セシメ苟クモ違反ナカラシムルコト(十一)組合ハ毎年其ノ事業ノ概況ヲ專賣局ニ報告スルコト(十二)組合ハ所轄專賣局收納所ノ要求アルトキハ何時ニテモ其ノ帳簿書類等ヲ閱覽ニ供スルコト(十三)組合定款第十一條「露國」ノ上ニ「帝國」ノ二字ヲ加ヘ第三十九條第二項「賣買」ノ下ニ「竝鹽專賣」ノ四字ヲ加フルコト(十四)組合員中從來輸出シタル鹽ニ對スル證明書不完全ナルカ爲メ却下セラレタルモノニ關シテハ組合ハ責任ヲ以テ今後組合員ヨリ何等苦情ケ間敷事申出シメサルコト(十五)前各項ハ組合員ヲシテ確ク遵守セシムヘキハ勿論萬一人タリトモ其ノ一二違背スル者アルトキハ政府ハ組合ニ信用ナキモノトシ何時ニテモ全組合員ニ對シ右ノ取扱ヲ取消シ爾後漁業用鹽ハ總テ專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ相當ノ手續ヲ爲スヘキコトニ御厲行セラルルモ各組合員ニ於テ更ニ何等ノ苦情ヲ申立テサルコト等ノ各項ヲ確守スヘキ條件ヲ以テ當分ノ間之ヲ

許容スルコトトシ明治四十二年出漁期以後輸出ニ係ル鹽ハ左ノ取扱ヲ爲スヘキコトニ省議決定ノ上各稅關長ニ通牒スルト同時ニ關係收納所長ニ通牒シタリ

專賣局長官通牒甲第一〇五一號 (明治四十二年三月二十五日)

△ 稅 關 長

客年來漁獲物ノ鹽藏ニ使用スル鹽ヲ積載出港スルニ際シ形式上輸出ノ手續ニ依ル者多ク從テ其ノ鹽中交付金下付濟竝擔保解除濟ノモノヲ積戻リ密輸入ヲ爲シ又ハ之ヲ使用シタル鹽藏物ヲ交付金ヲ受クヘキ漁獲鹽藏物ニ混載シ來ルモノアルノミナラス其ノ陸揚證明書ノ如キモ或ハ不正ノ手段ヲ弄セルニアラスヤトノ疑アルモノナキニアラス取締上多大ノ危險有之候ニ付爾今斯ル鹽ニ對シテハ斷然輸出ノ形式ヲ許ササルコトニ可致見込ノ處今般露領沿海州水產組合副長ヨリ別紙ノ通出願有之承認致置候條本年出漁期以後輸出ニカカル鹽ニ對シテハ右ニ依リ御取扱相成度尤モ右願書第九項ノ陸揚證明書ハ

(イ) 原則上露國稅關又ハ日本帝國領事ノ證明タルヲ要スルモ

(ロ) 若之ヲ得難キ場合ニハ陸揚地所轄郡長町村長ノ證明書

(ハ) 若又之ヲモ得難キ場合ニハ陸揚地所在漁業監督官燈臺長其ノ他露國官公衙ノ證明書

ヲ以テ之ニ代ユルコトヲ得ル義ニ有之尙(ハ)號中漁業監督官、燈臺長以外ノ露國官公衙ニ付テハ目下外務省ヲ經テ露國大使ニ照會中ニ有之右回答ニ接スル迄ハ差向之ヲ認メサルコトニ相成居候又町村長ニシテ一定ノ公印ヲ有セサル者モアル趣ニテ此等ノ者ニ付テモ併セテ照會中ナルモ急速ニ回答ヲ得難キ事情モ有之一方漁業期モ切迫セルコトナレハ先ツ當分ノ内

(甲) 村長ノ證明書ハ中央ニ(一)鯨ノ鹽吹圖カ、(二)又ハ三箇ノ山相聯ル圖カ、(三)若ハ馴鹿ノ圖アリテ共ニ周圍ニ村名アル印影ノ押捺セラレタルモノ

ノミヲ有效トシ其ノ他ノ町村長等ノ證明書ハ更ニ領事ニ於テ鹽ノ陸揚ヲ證明シタル場合ニノミ之ヲ領事ノ證明トシテ是認シ

(乙) 又漁業看守等ノ證明書モ更ニ漁業監督官又ハ領事ニ於テ證明シタルトキハ之ヲ漁業監督官又ハ領事ノ證明トシテ有效トシ

(丙) 且軍艦或ハ露國漁業監視船等ノ艦長又ハ乘艦監視官ニシテ證明ヲ與ヘタル場合ニモ之ヲ是認スルコト

ニ省議決定相成候條右御承知相成度

追テ上記燈臺長ハ左記七箇ノモノニ限ル

- 一 「パワロートヌイ」岬燈臺 (「アメリカ」灣口北緯約四十二度四十分ニ在リ)
- 二 「ニーズメンヌイ」岬同 (「オリカ」灣附近北緯約四十三度半ニ在リ)
- 三 聖「ニコライ」岬同 (「イムペラートルスカヤ」灣北緯約四十九度ニ在リ)
- 四 「ジヨンキエール」岬同 (樺太「アレキサンドル」港北緯約五十一度五十分ニ在リ)

- 五 「クレステルカンブ」岬同 (「デカストル」灣口北緯約五十一度二十五分ニ在リ)
- 六 「プロング」 岬燈臺 (黒龍江口南岬)
- 七 「マヤーチヌイ」 岬同 (勘察加半島「アワチヤ」灣口北緯約五十三度ニ在リ)

外國若ハ外國ノ沿海ニ於テ漁業用ニ供スル鹽ニ對シ輸出鹽トシテ特別ノ取扱ヲ爲スハ露領沿海州水産組合員ニ限ラレタルモノナレハ同方面ニ於ケル漁業用鹽ヲ輸出トシテ特別定價賣渡方請求アリタル場合其ノ請求者カ組合員外ノモノナルトキハ之ニ應セサルコトトシ各支局長ニ通牒シタリ

尋テ露領沿海州地方ニ輸出スル鹽ノ陸揚證明書様式ヲ左ノ如ク一定シタリ
 專賣局收納部長通牒甲第一六七六號 (明治四十二年五月十三日)

露領沿海州水産組合ヨリ申出ノ次第モ有之同地方輸出鹽ノ陸揚證明書様式別紙ノ通内不致候處同組合ニ於テ豫メ之カ用紙ヲ印刷シ組合員ニ配付スル趣ニ有之候條御了知相成度尤モ出漁先ニ於テ紛失スル等ノ場合モ可有之如此場合ニハ必スシモ之ニ據ル能ハサル事モ可有之爲念申添候也

輸出鹽陸揚證明書

官 名
 輸入者氏名
 船種及船名
 登簿噸數
 船長名
 到著日名
 輸出港
 噸數
 俵數
 斤量

陸揚漁區番號及名稱
 前記鹽ノ陸揚ヲ證明セムカ爲メ署名且ツ捺印シ本證ヲ交付ス

年 月 日

證明者 官 氏 名

第十章 交付金下付及追徴

УДОСТОВѢРЕНІЕ.

Дано сіе отъ

японскому подданному

въ томъ, что привезенная имъ на шхунѣ (пароходѣ)

мару (..... регистратовыхъ тоннъ),

прибывшемъ подъ командой капитана

дня..... мѣсяца 19 года изъ порта

въ Японіи соль въ количествѣ..... кулей вѣсомъ

фунтовъ (кинъ) выгружена на рыболовный

участокъ за II..... подъ названіемъ

что подписью и приложеніемъ казенной печати удостоверяю.

дня..... мѣсяца

19 года

露領沿海州水産組合員ニ限り漁業用鹽ヲ輸出ノ形式ニ依ラシムルハ前述スルカ如シ然ルニ同組合員中ニハ漁獲ヲ爲サス鹽藏ヲ專業トスル者アリ鹽藏專業者ヲ除外サルルニ於テハ同業者ノ受クル打撃甚シク該事業ハ遂ニ萎靡シテ製魚ノ利權ハ全ク露國人ノ獨占トナルノ虞アルニ依リ露領沿海州水産組合ニ對シ與ヘラレタル特別取扱ノ承認ハ自ラ漁獲ヲ爲ス者ノミニ止マラス鹽藏專業者ノ使用スル鹽ハ同一取扱ヲ爲スモノトシ苟モ同組合員タル限ハ總テ其ノ使用鹽ヲ外國輸出ノ手續ニ依ラシムルコトニ明治四十二年五月局議ヲ決シタリ

尋テ同年六月樺太建網漁業水産組合聯合會ヨリモ同島ニ於ケル漁獲物鹽藏用鹽ヲ移出ノ手續ニ依リ取扱ハレタキ旨情願アリ前記露領沿海州水産組合ト同一條件ノ下ニ之ヲ承認シタリ後又露國漁業者ヨリモ同一請願アリシヲ以テ是亦前記取扱ヲ均霑スルコトトシタリ

尙樺太島ニ移出スル鹽ノ陸揚證明書ニ付左ノ如ク書式ヲ定メ且移出鹽ノ陸揚檢査及證明ニ付樺太廳ニ對シ左ノ如ク照會シタリ

專賣局收納部長通牒甲第二一四〇號 (明治四十二年六月二十一日)

本月十四日付甲第二〇八二號樺太水産組合聯合會ノ移出鹽取扱方願書第九項ニ依ル移出鹽陸揚證明書書式別紙ノ通定メラレ候條右ニ依リ御取扱相成度

追テ函館支局長及樺太廳長官宛別紙ノ通牒候ニ付御了知相成度

專賣局收納部長通牒甲第二一四〇號 (明治四十二年六月十九日)

△專賣支局長

本月十日電報ヲ以テ承認相成候樺太水産組合聯合會ノ移出鹽取扱方願書第九項ニ依ル移出鹽陸揚證明書書式別紙ノ通定メラレ候條右ニ依リ取扱方同會ニ通達相成度尙右書式ハ聯合會ニ於テ豫メ之ヲ印刷シ組合員ニ配付スルコトニ相成候ハハ取扱上便利ト被存候又右鹽ノ移出者ハ聯合會組合員又ハ其ノ正當ナル委任ヲ受ケタルモノニ限ル儀ニ付可然御傳達置相成度

追テ本件ニ付樺太廳長官ニ對シ別紙ノ通照會相成候條御含置相成度

專賣局長官照會甲第二一四〇號 (明治四十二年六月十九日)

△樺太廳長官

樺太建網水産組合聯合會ヨリ別紙ノ通漁業用鹽取扱方ニ關スル願出有之本月十日承認致置候處同願書第九項ニ依リ證明書書式別紙ノ通相定メ函館專賣支局長ヲシテ右聯合會ニ傳達爲致置候ニ付同會組合員ヨリ貴廳ニ對シ樺太移入鹽陸揚證明方願出候場合ハ右書式ニ依リ證明書御交付相成候様致度尙右證明

第十章 交付金下付及追徴

書ハ明治三十八年五月勅令第百五十七號ニ依リ樺太ニ鹽ヲ移入スル者カ他日交付金ノ請求又ハ豫メ提供シアル擔保ノ解除請求ニ必要ナルモノニ有之候間該鹽陸揚ノ際ハ實地ニ就キ嚴正ニ調査ヲ爲シタル上證明書交付相成候様貴廳御管下關係官吏ニ御訓達相煩度御依頼旁此段及御照會候也

追テ證明書書式中鹽包裝別トハ鹽正味八十斤入込、四十斤入込等ノ區別ニシテ鹽等級トハ一等ヨリ五等迄ノ鹽品質ニ從ヒ各專賣支局ニ於テ左記黑色記號ヲ其ノ包裝ニ捺捺シアルモノニ付其ノ記號ニ依ル等級ニ有之爲御參考申添候

- 一等鹽 ○
- 二等鹽 ⊙
- 三等鹽 ⊕
- 四等鹽 ⊗
- 五等鹽 ⊘

右ハ何レモ直徑三寸ノ圓内ニ於ケル形ナルモ四十斤包裝以下ノモノハ直徑二寸ノ圓内ニ於ケルモノヲ用ユルコトアリ

第 號		樺太島移入鹽陸揚證明書	
鹽移入者住所氏名	縣府	郡市	町大字 村
移入鹽積載船種船名	縣	郡	村
登簿噸數	同陸揚年月日	鹽陸揚地名	番地
船長氏名	鹽使用漁場ノ名稱	同漁場ノ番號	同
鹽積載港名	同	同	同
鹽包裝別	鹽等級	鹽包裝箇數	鹽斤數
計	計	計	計
右鹽ノ陸揚ヲ證明ス 明治四十年 月 日			
取扱官廳名	氏名	圖	

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則ニ依リ交付金ノ下付ヲ請求スル者アルトキハ仕拂ノ確實ヲ期スル爲必ス印鑑證明書ヲ提出セシメ之ニ依リ印鑑簿ヲ調製シ置キ爾後一々之ト對查シ其ノ相違ナキヲ認メタル上仕拂ノ手續ヲ爲スヘキコトニ明治四十二年七月各專賣支局ニ通牒シタリ

鹽專賣法ヲ施行セサル地ニ移出スル鹽ニ在リテハ外國輸出ニ準シ之カ取扱ヲ爲シ專賣官署ニ於テ之カ檢定ヲ施行シタリシカ取締上遺憾ナキヲ期スル爲メ明治四十二年八月鹽專賣法施行地外移出鹽檢査手續ヲ制定シタリ之レニ關スル事項ハ第九章第七節ニ記述スヘシ

樺太島以外ノ鹽專賣法不施行地ニ移出スル鹽ニ付テモ移出鹽検査證及移出鹽出港通知書ト對查ノ上陸揚證明書ヲ交付セラルヘキ様管下ヘ通達方鹽專賣法施行地外移出鹽検査手續ヲ添ヘ明治四十二年八月東京、鹿兒島、沖繩ノ各府縣知事ニ通牒シタリ

移出鹽ニ對スル陸揚證明方ニ付テハ伊豆大島ノ如キ島廳アリテ且兼務者アル地ニ在リテハ兼務書記、兼務書記在ラサルトキハ島廳書記、若島廳在ラサルトキハ不得已稅務署、稅務署在ラサルトキハ其ノ地警察官衙ノ陸揚證明ヲ徵スルコトトシ島廳、警察官衙ノ無キ地ニ限り其ノ移出鹽ハ特ニ村長ヲ認ムルコトトシタリ

交付金下付取扱ノ便利ヲ圖リ且ハ交付金詐取ノ弊害ヲ防止スル爲明治四十二年九月專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ事項ニ付改正ヲ加ヘ十一月一日ヨリ之ヲ施行シタリ

一 漁獲鹽藏物ニ對スル交付金ハ從來鹽藏物ノ重量ニ依リ計算シタルヲ改メ使用鹽ノ數量ニ依ルコトトシタル爲其ノ鹽藏地カ鹽專賣法施行地ノ内外タルヲ問ハス總テ其ノ使用鹽ニ對シ豫メ其ノ數量ノ檢定ヲ受ケシメ其ノ檢定數量ノ範圍内ニ於テ交付金額ヲ算定スルコトトシ交付金ノ詐取ヲ豫防シタルコト

一 法令ノ定ムル目的ニ供スル鹽ニ付テハ斯業獎勵ノ趣旨ニ依リ國庫ノ損失ヲ來ササル限度ニ於テ專賣收益率ヲ減少シテ特別定價鹽ニ付テハ其ノ價格ヲ低廉收益率鹽百斤ニ付七錢ニシタルト同時ニ一般定價鹽ニ付テハ其ノ交付金ヲ増加シ鹽百斤ニ付一圓三十五錢トシタルコト

一 外國輸出魚類鹽藏用ノ特別定價鹽ニ付テハ其ノ目的ニ供シ又ハ其ノ不足額ニ對スル追徵金ヲ納付シタルトキ擔保ノ一部解除ヲモ許シタルコト

一、當業者ノ利便ヲ圖ル爲漁業用殘存鹽ニシテ鹽藏物ト共ニ検査ヲ受ケ難キ事情アルモノニ付テハ許可ヲ受ケテ殘存鹽所在地ノ鹽專賣官署又ハ稅務署若ハ警察官署ノ検査ヲ受クルコトヲ得ル途ヲ開キ尙特別定價賣渡鹽ノ場合ニ於ケル未使用鹽ノ證明モ亦之ト同一ノ取扱ヲ爲スコトニ改メタルコト

一、漁獲者ニ非サル鹽藏者モ生鮮ナル鮭、鱒、鯨又ハ臘、豚獸ヲ鹽藏セムトスルモノニ在リテハ其ノ鹽ノ特別定價賣渡及交付金ノ下付ニ付漁獲者ニ準シテ同様ノ恩典ニ浴シ得ルコトトシタルコト

一、外國輸出鹽ニ對スル交付金ノ下付及鹽藏魚類ニ對スル追徵金ノ徵收ハ從來稅關ニ於テ取扱タルモ專賣制度統一ノ今日ニ在リテハ總テ之ヲ專賣官署ニ於テ管掌スルヲ適當ナリト認メ之ヲ改メタルコト

勅令第二百二十五號（明治四十二年九月三十日）

專賣鹽特別定價賣渡及交付金下付規則中左ノ通改正ス

第一條中第一號及第二號ヲ左ノ如ク改ム

一 鹽酸、曹達、硫酸、曹達、晒粉製造用

二 石鹼製造用

第二條中「使用スル者」ヲ「使用スル漁獲者」ニ改ム

第四條中「第二號乃至第六號」ヲ削リ但書ヲ左ノ如ク改ム

但シ「第一條第六號」ノ用途ニ使用セムトスル場合ニ在リテハ漁獲物ノ種類、出漁船名、鹽積載船名、寄港地名及鹽ノ運搬方法ヲモ記載スヘシ

第五條第一項ヲ左ノ如ク改ム